



早川 康生 議員

重要文化的景観

重要文化的景観の保存活用については
どう考えるのか

答

整備活用計画を策定していきたい。



針江のカバタ

重要文化的景観では、平成20年3月に、「海津・西浜・知内の水辺景観」が、全国で5番目に選定を受け、続いて平成22年8月には、「針江・霜降の水辺景観」が、そして平成27年1月には「大溝の水辺景観」が選定を受けた。

そこで、以下について問う。

問 選定を受けた3地域の「水辺景観」についての文化財としての価値は何か。

答 教育総務部長

高島市の重要文化的景観は、水辺の生活文化とそれらが作り上げた景観が良好

に残っていることが評価され、選定されました。特に市内で1番早く選定を受けた「海津・西浜・知内の水辺景観」地域には、湖岸の約1.2kmにわたって、江戸時代に築かれた石積が残され、それに沿うように形成された家並みとともに、全国的に類を見ない貴重な水辺の集落景観として、高い評価を受けました。また「針江・霜降」地域ではカバタや湧水が流れる水路、そして「大溝」地域では乙女ヶ池や大溝城跡、城下の建造物などがあり、こうした構成要素が3地域それぞれの暮らしや景観の中に存



海津・西浜の石積み風景 近景



海津・西浜の石積み風景 遠景

問 今後の3地域の保存活用についてはどう考えるのか。

答 教育総務部長
地域の状況に応じた保存と整備、そして活用を進めることが重要な課題であると考えています。

そのため、市では昨年9月に「高島市重要文化的景観整備活用委員会」を立ち上げ、現在3つの重要文化的景観の将来に向けた望ましい保護を進めるための整備活用計画を策定していきたい。

その他の質問

●市の公会計整備と市有財産の有効活用について